

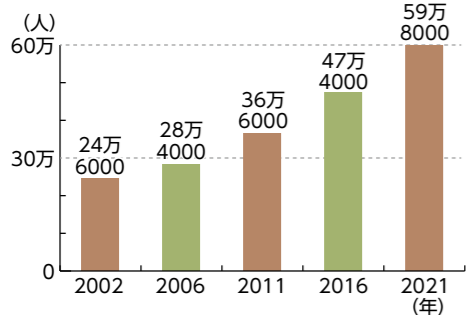


おいしいそうなミニチュア食品



オリジナルの布地から仕立てた染物製品

民間企業における障害者の雇用状況の推移
(厚生労働省「令和3年度障害者雇用状況の集計結果」)



製品や、藍染めの木製プレートなども商品化する予定です。
また、ボールペンや化粧品箱の組み立て、ゴム製部品のバリ取りなどの軽作業をはじめ、公共施設の草取りなどの受託作業もしています。
「同じ作業だけを延々と続けるのではなく、チームで作り上げる木工製品づくり、一人でやる軽作業、屋外での作業などいろいろな経験することは、一般企業への就職を考えたときに役立ちます」と二本柳さんは言います。

共に成長していける喜び

スタッフの皆さんはこういう瞬間にやりがいを感じるのか、サービス管理責任者の佐久間早香さんに聞きました。
「日々の関わり合いや作業を通して、利用者さんの成長を少しずつ感じることが出来ます。例えば、通える日数が増えたり、時間を延ばすことができたり、できる作業が増えたり。周りの人や本人さえ最初は難しいと思って入ってきても、気付いたらできているということが本当によくあるんです。一人一人の力を引き出すために職員間で話し合い、より良い支援を考えたときは、私たちが力が入ります。そして、他愛のない会話でも楽しみにしている利用者さんだったり、きちくろに通うのが楽しくなったと言ってもらえたりすると、本当にうれしくなります。仕事を通して視野が広がり、自分自身の成長を感じられたときに、この仕事をやって

「きちくろの主には、糸ノコ作業で卓越した腕前を発揮する利用者さんがいます。製品づくりの楽しさやきちくろの魅力について、文書で寄せてくれた声をご紹介します。」
「きちくろで主に糸ノコ作業を中心に活動しています。自閉症は人と視線を合わせて会話のキャッチボールをするのが苦手なので、今回は文章での回答としました。さて、きちくろの魅力ですが、正直、たまたま自分に合っていたというのが本音です。居心地が良く、作業量も自分にちょうどよいのだと思います。
以前のアルバイト先で仕事ができなくて落ち込んでいた私でも、きちくろに入ってから『できることがあるんだ！ 誰かの役に立てるんだ！』と少し元気が出ました。
木工もたぶん自分に合っていて、

「2015年の開設当初に比べ、当事業所のような障害者福祉サービスの利用者さんは大幅に増えています。また、2019年に障害者雇用が義務化され、社会参加の道が大きく開かれました。しかしまだ多くの課題があり、雇用した企業と障害者の両方が戸惑い、残念ながら退職に至るケースもあります。私たちは就労支援にとどまらず、企業と障害者の間に入って潤滑的な役割を担っていきたいと思っています」
一方、最近では直接足を運んで木工製品をオーダーする市民も少しずつ増えてきたとか。「きちくろの製品を通して、障害者福祉に興味を持っていただけたらうれしいですね」と話す二本柳さん。真の共生社会に向けてふれあいの輪が広がっていけば、と願っています。
©きちくろの製品は、ホームページやInstagramでも紹介しています。ぜひご覧ください

社会参加とふれあいを広げたい

障害者を取り巻く環境はどのように変化しているのでしょうか。二本柳さんに聞いてもらいました。
「2015年の開設当初に比べ、当事業所のような障害者福祉サービスの利用者さんは大幅に増えています。また、2019年に障害者雇用が義務化され、社会参加の道が大きく開かれました。しかしまだ多くの課題があり、雇用した企業と障害者の両方が戸惑い、残念ながら退職に至るケースもあります。私たちは就労支援にとどまらず、企業と障害者の間に入って潤滑的な役割を担っていきたいと思っています」

工房
きちくろベース
見学



細かな部分まで糸ノコで成形



電動糸ノコで木材を製品の形に切る



やさしい手触りになるまでやすりをかける



電熱ペンで表情を入れる



丁寧に塗装。製品によってはワックスを塗る

利用者さんの声

「きちくろで主に糸ノコ作業を中心に活動しています。自閉症は人と視線を合わせて会話のキャッチボールをするのが苦手なので、今回は文章での回答としました。さて、きちくろの魅力ですが、正直、たまたま自分に合っていたというのが本音です。居心地が良く、作業量も自分にちょうどよいのだと思います。
以前のアルバイト先で仕事ができなくて落ち込んでいた私でも、きちくろに入ってから『できることがあるんだ！ 誰かの役に立てるんだ！』と少し元気が出ました。
木工もたぶん自分に合っていて、

単純なことを黙々とやると落ち着く性質が功を奏したのだと思います。糸ノコは手遊びの感覚で、何となくできてしまいました。どんなものを切るのか考え出すことはできませんが、要望に忠実に切ることでできます。何かをつくって誰かに喜んでもらえるのなら、私もうれしいです。これからも喜んでもらえるよう、腕に磨きをかけ、丁寧に作品をつくり続けたいと思っています」
多彩な製品づくりと受託作業
木工製品以外にも、さまざまな製品を手づくりしています。例えば、樹脂粘土でつくったミニチュア食品の数々は、かわいくておいしそうでワクワクする出来栄。布製品も得意で、がま口、ファスナーポーチ、バッグ、よだれかけなど多彩です。ブルーシートやレジャーシートを使ったバッグは格好よく、汚れたら水でジャブジャブ洗って実用的。最近は染物製品も手がけており、オリジナルの布地から仕立てた



やさしいパズル

ヒノキでつくったぞうさんパズル



プレーメンの音楽隊



2022年寅年バージョン

こいのぼり